

Voice

グローバル認定者の声
#01

経営学部

手塚光翼さん
(2026年3月卒業)
「エキスパート」認定



【English Cafe Lessonから始まったグローバル活動】

私のグローバル活動は、「English Cafe Lesson」（以下、ECL）が中心だったと思います。2年生の初め頃、何か始めたいと思い、それまで、何となく「留学」に憧れを抱いていたので、「留学プランニング」という授業を履修しました。

この授業では、「ECL」を受講することになっていて、友達と一緒に通い始めたんです。通ってみると、どんどん楽しくなって、「留学プランニング」の授業が終了した後も、卒業まで継続して通いました。

そこから、English Cafeで出会った留学生の友人と国際交流イベントに参加するようにもなりました。また、国際共修科目を履修したり、「チャレンジ！海外」のプログラムでシンガポールへの短期留学に参加したり、卒業前には、約半年間のアメリカの協定校への留学も経験しました。

【英語が全ての活動をつないでいた】

私の活動の中心には「英語」があったんですが、それは、他の全ての活動をつないでいたと思います。私の4年間の活動を図に示すとすれば、真ん中に「英語」という円があって、その周りにある他の活動の円が、例えば3分の1ぐらいずつ重なっているような感覚です。私の活動の中心にある「英語」に、イベント、授業、留学、English Cafeや授業で出会った友人との関わりが全てつながっていたのだと思います。

English Cafeに行けば、そこに友人がいて交流ができたり、イベントに参加することで新しい友人ができたり、「ECL」で学んだことを授業で活かしたり、授業で学んだことをEnglish Cafeでの友人とのやり取りの中でアウトプットしたり、本当に全ての活動が重なって、自分の世界が回っていたのかなと思います。

【自分の頑張りを見える化してくれた】

最初は、ほとんど「グロエキ」を意識していませんでした。最初の認定（2年生）の際にメールをもらって驚いたのを覚えています。

でも、「グロエキ」の制度があることで、自分の頑張り进行评估して、数値化してくれることが、改めて自分の活動と向き合う瞬間があることが、次も頑張ろうという気持ちにつながっていたと思います。もし「グロエキ」が無かったら、今ここでお話しした経験も、具体的に伝わらないので、やはり、数字として残ることで、参加した証明じゃないですけど、この学生は、国際的な活動に力を入れているなというのが見える化して、知ってもらえたということも嬉しいなと思っています。